

浜名秀雄氏文書概要

- 1: 文書群番号 080012
- 2: 文書群名 浜名秀雄氏文書
- 3: 出所 浜名秀雄家
- 4: 家業・役職等 近世：東長洲村庄屋
近代：未詳
- 5: 地名 摂津国川辺郡長洲村／川辺郡東長洲村／兵庫県川辺郡東長洲村／川辺郡小田村長洲／尼崎市長洲／尼崎市長洲中通ほか
- 6: 行政区分 池田重利領／尼崎藩領／兵庫県第11区／長洲組戸長役場／小田村／尼崎市
- 7: 歴史 東長洲村は市城南東部、庄下川左岸・中国街道沿いに位置した村である。永禄9年(1566)頃にはすでに「長洲東西」の地名がみえ、慶長国絵図には東長洲・西長洲の両村名が記されている。東長洲村は近世初期まで長洲村の一部であったが、寛永12年(1635)青山氏の尼崎藩入封を契機として村切りがあり、その際行政村として独立したと考えられる(尼崎市史第二巻)。村高は857.516石(天保郷帳)、天明8年(1788)の家数110軒、人数487人(天明八年御巡見様御通行御用之留帳)。
- 8: 伝来 浜名秀雄氏より2回にわたって寄贈を受けた。①昭和55年(1980)9月に受入、同年10月に手続きを完了した。②同56年7月受入・手続き完了。平成15年(2003)1月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 浜名秀雄氏(原蔵者)
- 10: 点数 3点(目録件数3件)
- 11: 年代 天保2年(1831)～明治10年(1877)
- 12: 構造と内容 本文書群は、東長洲村入用控え、および幕末から明治初年の年貢・租税納付の通い、田地譲り渡し証文である。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代